

第 464 回広報委員会 会議次第

期日：令和 7 年 5 月 21 日

時間：理事会終了後

1. 協 議

(1) 「公私病連ニュース」第 562 号（令和 7 年 6 月 1 日号）の編集について

(2) 「いろ鉛筆」の執筆の分担について

※ 「いろ鉛筆」 484 文字以上～488 文字以内（空白含まず）

加藤幸男	原 澤	瀬 戸	加藤 誠	中嶋昭
令和7年 1月1日号	2月1日号	3月1日号	4月1日号	5月1日号
6月1日号	7月1日号	8月1日号	9月1日号	10月1日号
11月1日号	12月1日号	令和8年 1月1日号	2月1日号	3月1日号
4月1日号	5月1日号	6月1日号	7月1日号	8月1日号

(参考) 広報委員会委員（全 8 名）

担当副会長：中嶋昭副会長（→令和 5 年 6/14 から顧問に就任）

委 員 長：瀬戸顧問

委 員：邊見会長、行天・加藤（誠）・加藤（幸）顧問、
渡邊・原澤特別参与

「公私病連ニュース」第562号
(令和7年6月1日発行)
編集計画(案)

第1面

1. 第35回「国民の健康会議」開催へ
2. 時評：鎌田常務理事（神奈川県厚農連 伊勢原協同病院）
3. いろ鉛筆：顧問 加藤幸男先生

第2面

1. 中医協、令和8年度診療報酬改定の議論を開始するにあたり、医療機関を取り巻く状況が報告された。
 - ・利益率の低下。
 - ・職員の給与額上昇も、産業全体の平均に届かず。
 - ・材料費、委託費、建築費の増加。

第3面

1. 財務省「財政制度等審議会・財政制度分科会」
令和8年度診療報酬改定に向けた議論の方向性を明示
 - ・社会保障制度の持続性を確保する観点から、医療・介護の保険料率の上昇を最大限抑制する必要がある。
 - ・病院勤務医から開業医へのシフトを起こすことのないよう、診療報酬体系の見直しを図るべき。
 - ・地域別診療報酬の仕組みを活用し、診療所過剰地域から診療所不足地域への医療資源をシフトしていくべき。

第4面

1. 今月の1冊：邊見会長
2. 連盟「第35回診療報酬請求事務セミナー（7月・WEB開催）」のお知らせ
3. 広告：(株)公私病連共済会

「時評」スケジュール

※「時評」（タイトルは含まずに）920文字程度

※令和7年

1月

邊見会長の年頭所感 と

加盟8団体の会長の年頭所感

①自治体 望月会長（連盟副会長）

②公立 辻井会長（連盟副会長）

③厚生連 長谷川会長

④日赤 牧野会長（連盟副会長）

⑤済生会 三角会長（連盟副会長）

⑥岡山 重井会長（連盟副会長）

⑦日私病 中村会長（連盟副会長）

⑧公精協 北村会長（連盟副会長）

※厚生連の連盟副会長

2月

副会長

浦田先生（JA愛知県厚生連 安城厚生病院）

6月の総会で就任

3月

理 事 髭 修平 先生（札幌厚生病院）

した新任の先生

4月

理 事 中瀬真治 先生（鈴鹿厚生病院）

5月

①新谷先生

6月

②鎌田先生

7月

邊見会長の総会挨拶

8月

③中野先生

9月

④川嶋先生

10月

⑤佐能先生

11月

⑥女屋先生

12月

6月の総会で就任した新任の先生

※令和8年

1月

邊見会長の年頭所感

2月

副会長 浦田先生

3月

6月の総会で就任した新任の先生

【参考】連盟・常務理事

常務理事	野村 幸博	総合病院国保旭中央病院 院長（11月号で書いて頂いた）
常務理事	①新谷 史明	いわき市病院事業管理者
常務理事	②鎌田 修博	神奈川県厚農連 伊勢原協同病院 院長
常務理事	③中野 実	前橋赤十字病院 院長
常務理事	④川嶋成乃亮	大阪府済生会中津医療福祉センター 総長
常務理事	⑤佐能 量雄	社会医療法人 光生病院 理事長・院長
常務理事	佐々木 敬	佐々木研究所 理事長（12月号で書いて頂いた）
常務理事	⑥女屋 光基	国立病院機構 下総精神医療センター 院長

以上

第 465 回広報委員会 会議次第

期日：令和 7 年 6 月 11 日

時間：理事会終了後

1. 協 議

(1) 「公私病連ニュース」第 563 号（令和 7 年 7 月 1 日号）の編集について

(2) 「いろ鉛筆」の執筆の分担について

※ 「いろ鉛筆」 484 文字以上～488 文字以内（空白含まず）

加藤幸男	原 澤	瀬 戸	加藤 誠	中嶋昭
令和7年 1月1日号	2月1日号	3月1日号	4月1日号	5月1日号
6月1日号	7月1日号	8月1日号	9月1日号	10月1日号
11月1日号	12月1日号	令和8年 1月1日号	2月1日号	3月1日号
4月1日号	5月1日号	6月1日号	7月1日号	8月1日号

(参考) 広報委員会委員（全 8 名）

担当副会長：中嶋昭副会長（→令和 5 年 6/14 から顧問に就任）

委 員 長：瀬戸顧問

委 員：邊見会長、行天・加藤（誠）・加藤（幸）顧問、
渡邊・原澤特別参与

令和7年6月11日

「公私病連ニュース」第561号
(令和7年7月1日発行)
編集計画(案)

第1面

1. 「令和7年度(第66回)全国公私病院連盟・定時総会」を開催
2. 会長所信：邊見会長
3. いろ鉛筆：原澤特別参与

第2面

1. 定時総会「決議」

第3面

1. 役員名簿(顔写真入り)

第4面

1. 今月の1冊：邊見会長
2. 広告：(株)公私病連共済会

令和5年度 第64回 定時総会

全国公私病院連盟



令和5年度(第64回)定時総会のもよう

遠見公雄会長を再選

入院基本料の大幅引き上げを決議

全国公私病院連盟の「定時総会」が6月14日(水)に「全国町村会館」(長岡中央総合病院・名誉院長)が開会宣言を行った後、遠見公雄会長が改選の年にあたっていることから互選を行った結果、遠見公雄会長(赤穂市民病院・名誉院長)が再選されている。また、総会では入院基本料の大幅な引き上げを求めるなど5項目にわたる「決議」(2面に全文を掲載)を満場一致で採択した。

当日は、富所隆副会長(水)に「全国町村会館」(長岡中央総合病院・名誉院長)が開会宣言を行った後、遠見公雄会長が改選の年にあたっていることから互選を行った結果、遠見公雄会長(赤穂市民病院・名誉院長)が再選されている。また、総会では入院基本料の大幅な引き上げを求めるなど5項目にわたる「決議」(2面に全文を掲載)を満場一致で採択した。

石原淳副会長(平塚市病院事業管理者)より上程があり了承され、第2号議案の「令和4年度収支計算書案、貸借対照表案、財産目録案」は、中嶋昭副会長(玉川病院・理事長)から上程され、遠山正博監事(佐倉厚生園病院・名誉院長)より

会長所信

この度、計らずも「会長としてもう少し頑張れ」と会長再任の大役を仰せ付けられました。来年4月の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定に向けて頑張れというエールかと受け取っております。相澤孝夫日本病院会会長初め、他の病院団体も異例の続投が大勢です。無能な私もそれに倣えようか。



一般社団法人

全国公私病院連盟

会長 遠見公雄

新たな事務局体制のもと、長年住み慣れた事務所も建築基準法の耐震基準以下で取り壊すため、年明けには浅草へ移転予定。色々といたします。

相互の絆を強めるべく、各団体の学会や総会には他の加盟団体代表が勝手連的に押し掛ける活動を推進します。

また、光熱費や食材等すべての物価の高騰

さらに、国民の負担にこたえる国会議員こそ味方しなければ、病院の窮状を一般市民は理解してくれませんか。欲張り村の村長さん、誤解されるのが落ちです。報道の自由度

ているのが、我々病院界なのです。医療は医師会中心であると曲解させようとしているのはと危惧しております。勤務医の働き方改革なのに医師の働き方改革。これでは歯ぐき

力、我々病院界の賢人イロ・マスキ氏から消滅予定国と名指しされたJAPANをどう再興させるか。皆様と熱く議論させて頂けることを期待しております。例年、若い女性の参加が

(赤穂市民病院・名誉院長)

国民医療の確保のために 病院診療報酬の引き上げを

監査報告があり、続いて上程された「令和4年度当期未処分残余金処分計算書案」と一括して了承されている。その後、3月の理事会ですでに承認を受けていた「令和5年度事業計画書」と「令和5年度収支予算書」について、難波義夫副会長(金光病院理事長・院長)と牧野憲一副会長(旭川赤十字病院・院長)から、それぞれ報告があった。

続いて、本年度は2年に1度の改選期にあたるため第3号議案の「役員選任案」が遠見会長から提案され、加盟団体から推薦された理事と監事

の候補者が了承された後、「会長・副会長・常務理事」の互選を行うため総会を一時中断して改選後の新理事による臨時の「理事会」が開催され、

読し、満場一致で承認された。最後に小野副会長(砂川市立病院・名誉院長)が開会挨拶を行った後、総会が閉会した。会場を移して懇親会が開催された。

【記念講演】

尾身茂 先生が講演



全国公私病院連盟の「定時総会」に先立ち、尾身茂先生(公益財団法人結核予防会・理事長)をお迎えし「新型コロナウイルスのこれまで」をテーマに「記念講演」が行われた。

尾身先生は、我が国における対策の特徴、その評価、直面した課題について解説し、これからの見通しについて見解を述べた。

40年にピークを迎える 後期高齢者の増加を見据え「かかりつけ医(カ 医)」制度について長く 議論されている。コロナ 禍で必要性が顕になり、 骨太の方針でも採りあげ られた。どんな病気でも まず相談できる力医を身 近に持つ制度実現のため には多くの課題がある。 力医の認定、登録、情報 公開について、日医、健 保、省庁で見解の相違が あり、また着地点が見え ない▼力医機能として幅 広い診療領域に対応でき る能力が必須だが、わか 国では元々の専門医が開 業し各専門診療科を標榜 する歴史があり、分野に 偏らない総合医は多くは ない。欧州に習えば、専 門医と一般医を研修段階 で振り分け、半数ずつ養 成する教育の大改革が必 要だが、それには長い年 月を要する。現状に鑑 み、力医への緩い登録制 度の下に複数の専門科受 診を容認し、面として対 応する意見がある▼診療 所の地域偏在も深刻で、 東京と北海道過疎地では 人口比密度で10倍の開 きがある。独仏並みの規 制による配置調整は難し いだろうが、病院、診療 所、患者ともに享受して きた自由度の高い日本の 医療が曲がり角にきてい るのは間違いない。地域 包括ケアの要を力医が担 うシステムの早期の実現 が待たれる。(S・S)

決 議

世界情勢と異例の円安などでエネルギーや食料など輸入を中心とする物価高が我が国を襲っており、我々病院も光熱費や入院患者の食料・医療材料などを中心に未曾有の高騰に見舞われている。しかし昨年4月の診療報酬改定は実質マイナスであり、過去15年間を振り返っても殆ど上昇していない。

特に食事療養費は人生100年時代で高齢者や障害者に対してきざみ食、とろみ食、アレルギ対策など多種少量で多大な手間と技術を費やしているにもかかわらず全く評価されておらずコストパフォーマンスが極めて悪いのが現状である。少種大量生産、コンビナートのなブランチショ

ンのファストフード業界でさえ数回値上げしているのに病院はいかがかと栄養士や調理師から問われる事も多い。医食同源で重要な位置を占めるのがこの分野であり、この分野を評価しないと回復治療が遅れ入院日数の短縮に繋がらない。

病院は医療安全やチーム医療、快適療養、効率化、働き方改革、地域連携などで臨床工学士、診療情報管理士、ソーシャルワーカー、看護補助者等々、多職種の人材を採用してきた。しかしそれらは殆ど評価されておらず、評価されても微々たるものであった。

今回、政府の唱える

「新しい資本主義」達成のためには、その中核部隊である医療・介護に対して手厚い処遇が絶対必要条件であると考える。

「医療部会」がこれを後追いつける形になっており、事業計画より収支予算ありきの議論になっているのは本末転倒である。ここでは決められた「診療報酬改定の基本方針」が、中央社会保険医療協議会（中医協）の議論の終盤に提示され、診療報酬改定率も年末の慌ただしい予算編成過程で決定されるため、中医協での検討内容が十分に反映され難くなっているうえ

盟では、効率至上主義、経済財政を重視してきた昨今の政策からの転換を強く求めるとともに、国民が将来にわたって安心して暮らせる社会的共通資本としての医療制度を確立す

全国公私病院連盟
定時総会「決議」

令和5年6月14日

るためにも、次の事項の実現を期し、ここに決議する。

記

1. 診療報酬に関すること

（１）食料・医療材料などを中心に未曾有の高騰に見舞われているが、病院の原資である入院基本料は過去15年間殆ど上昇していない。

また、今回政府の唱える「新しい資本主義」の中核をなす医療・介護職に対して手厚い処遇（給与の引き上げ等）が必要であることから、入院基本料の大幅アップを要望

には、病院と診療所の診療報酬体系を別にするなどの検討も始めるべきである。

2. 医療に掛かる控除対象外消費税に関するこ

医療に掛かる消費税を無税としているための問題点、矛盾点などは繰り返し指摘し、根本的解決すなわち課税への転換を要望してきた。しかしな

が、中央社会保険医療協議会（中医協）の議論の終盤に提示され、診療報酬改定率も年末の慌ただしい予算編成過程で決定されるため、中医協での検討内容が十分に反映され難くなっているうえ

に、改定点数や具体的内容等が示されないまま行われるパブリックコメントの募集や公聴会の開催も形骸化している。

については、診療報酬の改定にあたっては、社会保障審議会「医療部会」と「中医協」の議論を先行させ、その議論に基づき社会保障審議会「医療保険部会」での議論を進めるべきであり、加えて、予算原案提示前に改定予定項目のアウトライ

ンに、その積算根拠を明らかにし、広く国民の理解を得るために十分な時間と機会を設けること。

（３）なお、中・長期的

3. 医師の偏在是正及び医師の働き方改革の対応について

医師の働き方改革については、令和6年4月から時間外労働の上限規制等が適用されるが、大学病院から医師を引き揚げられることも懸念される。特に、地方の病院は、医師確保が一層困難になるという悪循環に陥り、地域医療を維持できなくなるおそれがある。

このため、地域ごとの医師偏在の実態（診療科、病院と診療所、昼夜等）や、医療現場の取組の現状（労働時間、宿日直許可の取得や医師の業務改善状況、タスク・シエアリング及びタスク・シフティングの推進等）を把握して、必要に応じ柔軟に実効性（即効性）のある対策を講じるとともに、地域医療の確保に支障が生じないよう必要な配慮をすること。

4. 医療DX（電子カルテなど）に関すること

医療DXは今後さらに展開し重要性が増す。中でも多職種による共同活動が進む病院医療において、電子カルテは指示の徹底、情報の共有、複数による安全確認など最重要機器となっている。また、地域医療体制や医療連携が進む現状にとって情報交換は正確である必要があり、電子カルテは必須となっている。政府が進める医療DX

には期待しているが、診療報酬改定の度起こるソフトの改変、約5年ごととされる機種の更新などの病院負担は多大であり、健全な医療活動を圧迫している。また、サイバー攻撃対策は高い費用を要し、現在の診療報酬では地方の中小病院をはじめ多くの病院には実施不可能であるので、これら費用の公的支援を要望する。

5. 感染症対策について

新型コロナウイルス感染症については、5類変更後も引き続き、同感染症に対応するための体制（病床の確保、検査、人材の確保・教育等）を維持する必要性が生じているので、現在措置されている診療報酬上の特例を令和6年度診療報酬改定まで継続するとともに、令和6年度においても、必要に応じて新型コロナウイルス感染症関連補助事業を継続すること。

また、第8次医療計画において、新興感染症の発生・まん延時に感染症対応と通常の医療を両立できる体制を構築するために都道府県と医療機関が病床確保等の協定を結ぶにあたっては、医療機関への財政的な支援、人材確保や養成のビジョンを示していただきたい。

上記決議する。

令和5年6月14日
全国公私病院連盟
令和5年度定時総会

一般社団法人 全国公私病院連盟 加盟正会員および所在地一覧

一般社団法人 全国公私病院連盟 会 長 邊 見 公 雄	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-6-1 食品衛生センター4 階 TEL 03-3402-3891 FAX 03-3402-4389 e-mail byo-ren@jb3.so-net.ne.jp
公益社団法人 全国自治体病院協議会 会 長 小 熊 豊	〒102-8556 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館 本館 7 階 TEL 03-3261-8555 FAX 03-3261-1845
全国公立病院連盟 会 長 辻 井 正 彦	〒578-8588 大阪府東大阪市西岩田 3-4-5 市立東大阪医療センター内 TEL 06-6781-5101 FAX 06-6781-2194
全国厚生農業協同組合連合会 代 表 理 事 会 長 山 野 徹	〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 27 階 TEL 03-3212-8000 FAX 03-3212-8008
日本赤十字社病院長連盟 会 長 牧 野 憲 一	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-3 日本赤十字社ビル西館 6 階 TEL 03-5733-4296 FAX 03-5733-4297
全国済生会病院長会 会 長 三 角 隆 彦	〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1 済生会横浜市東部病院内 TEL 045-576-3000 FAX 045-567-3525
一般社団法人 岡山県病院協会 会 長 難 波 義 夫	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町 19-2 岡山県医師会館 5 階 TEL 086-250-1124 FAX 086-250-3458
日本私立病院協会 会 長 中 村 哲 也	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-6-1 食品衛生センター4 階 TEL 03-5414-3113 FAX 03-3408-1430
一般社団法人 日本公的病院精神科協会 会 長 中 島 豊 爾	〒700-0915 岡山県岡山市北区鹿田本町 3-16 岡山県精神科医療センター内 TEL 086-225-3821 FAX 086-234-2639

一般社団法人 全国公私病院連盟 役員名簿

(令和5年7月1日現在)

会 長	邊 見 公 雄	赤穂市民病院 名誉院長
副 会 長	小 熊 豊	砂川市立病院 名誉院長
副 会 長	辻 井 正 彦	地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 総長
副 会 長	浦 田 士 郎	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 名誉院長
副 会 長	牧 野 憲 一	旭川赤十字病院 院長
副 会 長	三 角 隆 彦	神奈川県済生会 横浜市東部病院 院長
副 会 長	難 波 義 夫	医療法人社団同仁会 金光病院 理事長・院長
副 会 長	中 村 哲 也	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院 理事長
副 会 長	中 島 豊 爾	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター 理事長・名誉院長
常務理事	海 保 隆	国保直営総合病院 君津中央病院 院長
常務理事	新 谷 史 明	いわき市病院事業管理者
常務理事	水 上 泰 延	静岡県厚生農業協同組合連合会 遠州病院 名誉院長
常務理事	中 野 実	前橋赤十字病院 院長
常務理事	川 嶋 成乃亮	大阪府済生会 中津医療福祉センター 総長
常務理事	佐 能 量 雄	社会医療法人 光生病院 理事長・院長
常務理事	女 屋 光 基	独立行政法人国立病院機構 下総精神医療センター 院長
理 事	黒 田 啓 史	地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 院長
理 事	木 原 康 樹	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 院長
理 事	鎌 田 修 博	神奈川県厚生農業協同組合連合会 伊勢原協同病院 院長
理 事	中 房 祐 司	福岡赤十字病院 院長
理 事	松 浦 弘	福岡県済生会 福岡総合病院 院長
理 事	辻 尚 志	岡山赤十字病院 院長
理 事	内 藤 嘉 之	介護老人保健施設くにさき苑 施設長
理 事	相 馬 正 義	公益財団法人佐々木研究所附属 杏雲堂病院 前院長
理 事	石 川 悦 久	御殿場石川病院 理事長
理 事	北 村 立	石川県立こころの病院 院長
監 事	岡 田 俊 英	石川県立中央病院 院長
監 事	伊 藤 博 博	深谷赤十字病院 院長
監 事	遠 山 正	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院 名誉院長

6月14日（水）に開催された全国公私病院連盟「定時総会」で役員の変更が行われ、会長には邊見公雄氏（赤穂市民病院・名誉院長）が再選されました。また、名誉会長・顧問・特別参与の推戴も同日に行われています。各名簿は以下のとおりです。

常務理事＝女屋光基（独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター・院長）



Dr. Tetsuya Kikuchi is a Japanese physician and researcher. He is a member of the Japanese Society for Neuroendocrinology and the Japanese Society for Neuroendocrinology. He is also a member of the Japanese Society for Neuroendocrinology and the Japanese Society for Neuroendocrinology.

特別参与||阿曾佳郎(藤

購入のお申し込みは、全国公私病院連盟へ
TEL 03(3402)3891